

令和7年度第9回自立支援協議会テーマ別部会  
教育と福祉の連携について 議事要旨

1. 開催日時 令和8年1月13日(木) 10時～11時45分

2. 開催場所 まちづくり活動プラザ 1階会議室

3. 出席者 (委員) \*団体名のみ記載

パルレ、浦安市肢体不自由児・者親の会「どっこらしょ」、Japan居場所づくりプロジェクト、認定NPO法人発達わんぱく会、(福) 佑啓会、(福) 敬心福祉会、(一社) こども未来共生会  
浦安市こども発達センター、(福) 千楽、NPO法人アリスのうさぎ  
浦安市教育センター、浦安市指導課、障がい事業課  
(事務局) 浦安市基幹相談支援センター

4. 議事次第

1. 開会

2. 議題

(1) 令和7年度の部会まとめ資料の説明と内容確認

(2) 令和7年度部会活動まとめについての意見交換(加筆修正を中心に)

(3) 令和7年度部会スケジュール

3. 閉会

5. 配布資料

・次第

・令和7年度テーマ別部会(教育と福祉の連携)部会活動まとめ(報告書案)

6. 議事要旨

1) 令和7年度の部会まとめ資料の説明と内容確認

部会まとめ資料が当日配布となったことから、各自通読する時間を設け、部会活動のまとめ資料を作成した事務局の意図やポイントを次の通り説明:

①提言書という形式ではなく報告書という形式で作成した。その意図としては、前回の部会でも様々な意見、見解があり、部会の総意としての提言を出すという状態に至っていないと考えた。とは言え、国が自治体に促している教育と福祉の連携、こどもを主体とした意思決定など、本質的かつ重要な意見が多数あったことから、部会の報告及び、本部会で出た意見をできるだけ網羅的に部会運営委員会、本協議会に報告することを重視した。

②部会でも指摘された委員構成の片寄り、大きすぎるテーマ設定、教育現場の実際に関する情報の少なさなど、運営についての課題も多くあったことから、次年度の部会運営にむけてそれらを記載した。

③プロジェクト実働型の部会として設定されていたが、具体的なアクション、成果に至ることはできなかったことも記載した。

## 2) 令和7年度部会活動まとめについての意見交換（加筆修正を中心に）

・報告書としては良いと思う。ただインパクトが弱い。部会で共通理解できたことあったが、具体的に活動としてまとまらなかった。一定の段階まで議論はできたが、次に進むステップを強調したほうが良いと思う。例えば、まとまらなかった原因の記載し、具体的な意見があったが、到達できなかった等。次回につなげるためにも、教育と福祉が均等にいないと進められなかったという具体性を追記したほうが良い。

・この1年でまとめるのは無理があった。もっと具体的に話し合った内容を書いた方がよい。この部会で話し合えなかったことも含めて。

・相互理解の部分、連携時の違和感、適切な言葉があるのではないかなと思う。話し合いの中での摩擦、これってどういうことなのだろうか…と言う感覚がより言語化されると有意義だと思う。

・教育と福祉の連携ができるようになったかどうか課題となる。先生と連携が取れている機関もある。放デイ、計画相談とあるが、連携を障がい福祉サービス事業者に求めるのはかなり厳しいと思う。なんでもできる、フリーな機関が連携をとる、だからできるという要素もある。論点を出すことは重要であるが、話し合いをしてもまとまらないと思った。

・長い部会を一つの報告書でまとめることは難しいと思う（分量）。1回1回、知る機会があって、教育のことを全然知らなかったことの実感がある。印象に残ったことはエピソード、事例、例示を記載するのはどうか。それぞれの立場があって、共感できる場所もあれば、文化の違いが明らかになったことを記載するのはどうか。

・具体的な解決策は難しい。部会で分析したことが肝だったと思う。

・福祉と教育の連携の実践の話を知ると、国の通知（平成30年、令和6年通知）が思うよりも後押ししており、学校に放デイに関わる事例が多かった。国の通知を改めて共有することは良いことだし、福祉と教育が連携することに反対する人はいない。知っている人たちは当たり前に行っている。福祉と教育がクロスしてこどもに関わっていくことは良いことだ。

〔次年度に向けて自立支援協議会、テーマ別部会の在り方についての意見〕

・自立支援協議会に当事者の方が入っていることが大切で、自立支援協議会の在り方を創っていくことが必要だと思う。

・本部会では合理的配慮の説明が無いまま話が進んでいった。各部会、最初に勉強や説明会などからスタートすることも一案か。部会ごとに必要な知識も違ってることから部会ごとに研修をするならば設定する方がよい。

・テーマによって成果に到達するために要する期間に違いがあることを前提とした運営が良いのではないか。継続性も大切であることから、この1年間の反省点を踏まえて前向きにとらえていくことが良いと思う。

・提言書をまとめることが出来たら、自立支援協議会に報告して、教育側に伝えることになるのか。自立支援協議会にその力があるのだろうか。福祉側から教育側に伝えるための役割が必要ならば、それは担える。

・本部会は、次年度に続くように話があったと思う。次年度に続かないなら、今回の委員は何だったのだろう。この続きが出来るという前提が無いのであれば、意見出し合って終わりになるのは納得がいかない。

・（部会に）参加したくても参加できない人もいると思うので、広く意見が発信できて、反映されるような部会の最適化が促進されればと思う。

- ・ 試行的に始まったテーマ別部会であるが、その在り方も再考する時期かもしれない。

事務局より、以下を伝え閉会：

- ① 自立支援協議会の構成やテーマ別部会のテーマ決定までの流れ、昨年度の部会の取組み（実践結果）を例示しながら説明し、テーマ別部会の運営についての意見は部会運営委員会等で検討する。
- ② 令和7年度の本部会のまとめ（報告書）は本日の意見を反映して再度、事務局にて加筆修正し、次回部会にて再検討したい。